



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月13日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 衛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 佐藤 将夫 TEL 03 (5217) 7811
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	358	△2.6	△94	—	△133	—	△124	—
26年3月期第2四半期	367	12.2	△52	—	△54	—	△52	—

（注）包括利益 27年3月期第2四半期 △133百万円（－％） 26年3月期第2四半期 △51百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△74.68	—
26年3月期第2四半期	△31.42	—

（注）当社は、平成25年10月1日付で1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	845	506	59.8	303.39
26年3月期	978	639	65.1	383.76

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 505百万円 26年3月期 636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,007	14.0	10	△44.5	27	552.1	22	76.3	13.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	1,780,000株	26年3月期	1,780,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	113,600株	26年3月期	113,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	1,666,400株	26年3月期2Q	1,666,400株

（注）当社は、平成25年10月1日付けで1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記により記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 当社は、平成26年11月26日（水）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社Webサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和を受けて、景気は緩やかな回復基調で推移しています。一方、特に非製造業においては、消費税率引き上げの影響から個人消費が低迷するなど、不透明な状況にあります。

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においても、企業のIT投資は回復傾向にありますが、利益率の低迷は未だ続いております。

このような環境の中、前年度末の消費税率引き上げ前の駆け込み受注による売上計上などにより、当第2四半期連結累計期間において、売上高は358,165千円(前年同期比2.6%減)となりました。

一方、売上原価率の上昇、及び、販売費及び一般管理費の増加により、営業損失は94,611千円(前年同期は営業損失52,153千円)となりました。また、当社の持分法適用会社である株式会社北栄は、沖縄県において海砂利採取を主な事業としており、持分法による投資利益により経常利益及び四半期利益の業績確保を見込んでおりましたが、第2四半期連結累計期間において同社が海砂利納入をしていました大規模埋立工事が自然環境保護のため工事半ばで中止になるなどの影響で、大幅に計画を下回り、経常損失は133,872千円(前年同期は経常損失54,424千円)、四半期純損失は124,438千円(前年同期は四半期純損失52,365千円)となりました。なお、グループ各社の平成26年10月以降売上高の確保は当初計画以上に進捗しており、株式会社北栄においても平成26年10月より前記大規模埋立工事の再開及び新規受注工事への海砂利納入を開始しております。

このような状況において、当社グループは当初計画の業績確保はもとより、これまで培ってまいりましたIT活用による提携企業へのコンサルティング機能をさらに高め、先進的マーケティングソリューションの提供等により新たなサービスの創造とマーケットの開拓、さらに新たな異業種企業との提携による収益創出事業の展開を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は443,876千円(前連結会計年度末比47,888千円減)となりました。これは主に、短期貸付金が86,231千円増加しましたが、現金及び預金が68,478千円、売掛金が61,898千円減少したことによるものです。

固定資産の残高は401,246千円(前連結会計年度末比85,087千円減)となりました。これは主に、投資有価証券が43,431千円、長期貸付金が27,898千円減少したことによるものです。

これにより総資産の残高は845,123千円(前連結会計年度末比132,975千円減)となりました。

流動負債の残高は217,401千円(前連結会計年度末比3,408千円増)となりました。これは主に、買掛金が36,274千円減少しましたが、前受金が26,886千円、短期借入金が24,798千円増加したことによるものです。

固定負債の残高は121,682千円(前連結会計年度末比2,920千円減)となりました。これは主に、退職給付に係る負債が6,322千円増加しましたが、長期借入金が2,848千円減少したことによるものです。

これにより負債の残高は339,084千円(前連結会計年度末比488千円増)となりました。

純資産の残高は損失の計上等に伴い506,039千円(前連結会計年度末比133,464千円減)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により30,512千円、投資活動により58,611千円それぞれ減少し、財務活動により20,645千円増加しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金の残高は当期期首残高より68,478千円減少し20,954千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は30,512千円減少(前年同期は94,826千円減少)しました。売上債権の減少61,898千円により資金が増加しましたが、税金等調整前四半期純損失126,286千円の計上、仕入債務の減少36,274千円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は58,611千円減少(前年同期は21,491千円減少)しました。貸付けによる支出により111,064千円資金が減少したことによるものであります。主な貸付金の貸付先は株式会社北栄であり、当第2四半期連結会計期間末における貸付額は363,000千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により、資金は20,645千円増加(前年同期は4,335千円増加)しました。これは、借入れによる収入が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、業績の変動は現時点では想定されておらず、平成26年5月14日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示いたしてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,433	20,954
受取手形及び売掛金	244,383	182,485
商品	500	500
仕掛品	2,277	2,843
貯蔵品	455	260
短期貸付金	111,012	197,243
その他	46,416	42,146
貸倒引当金	△2,713	△2,558
流動資産合計	491,764	443,876
固定資産		
有形固定資産	32,220	28,679
無形固定資産	54,874	46,582
投資その他の資産		
投資有価証券	104,715	61,283
長期貸付金	252,018	224,119
その他	47,667	45,716
貸倒引当金	△5,162	△5,135
投資その他の資産合計	399,238	325,984
固定資産合計	486,334	401,246
資産合計	978,099	845,123
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,071	18,796
短期借入金	61,050	85,848
1年内返済予定の長期借入金	8,553	7,291
未払法人税等	12,084	2,000
賞与引当金	26,426	27,758
その他	50,807	75,705
流動負債合計	213,992	217,401
固定負債		
長期借入金	5,737	2,889
退職給付に係る負債	91,131	97,454
その他	27,733	21,338
固定負債合計	124,603	121,682
負債合計	338,595	339,084

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,050	467,050
資本剰余金	510,270	510,270
利益剰余金	△251,824	△376,262
自己株式	△95,771	△95,771
株主資本合計	629,724	505,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,929	288
その他の包括利益累計額合計	6,929	288
少数株主持分	2,849	464
純資産合計	639,503	506,039
負債純資産合計	978,099	845,123

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	367,689	358,165
売上原価	298,406	309,355
売上総利益	69,283	48,810
販売費及び一般管理費	121,436	143,421
営業損失(△)	△52,153	△94,611
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,369	3,392
違約金収入	2,346	—
その他	942	509
営業外収益合計	4,658	3,901
営業外費用		
支払利息	180	411
持分法による投資損失	6,713	42,637
その他	36	113
営業外費用合計	6,930	43,162
経常損失(△)	△54,424	△133,872
特別利益		
投資有価証券売却益	—	11,309
特別利益合計	—	11,309
特別損失		
減損損失	—	3,300
固定資産売却損	—	423
特別損失合計	—	3,723
税金等調整前四半期純損失(△)	△54,424	△126,286
法人税、住民税及び事業税	500	537
法人税等合計	500	537
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,924	△126,823
少数株主損失(△)	△2,559	△2,385
四半期純損失(△)	△52,365	△124,438
少数株主損失(△)	△2,559	△2,385
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,924	△126,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,213	△6,640
その他の包括利益合計	3,213	△6,640
四半期包括利益	△51,711	△133,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,152	△131,079
少数株主に係る四半期包括利益	△2,559	△2,385

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△54,424	△126,286
減価償却費	8,645	8,397
のれん償却額	1,304	1,304
その他の償却額	918	918
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,015	△180
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,009	1,332
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,057	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	6,322
受取利息及び受取配当金	△1,369	△3,392
支払利息	180	411
補助金収入	△400	—
持分法による投資損益(△は益)	6,713	42,637
固定資産売却損益(△は益)	—	423
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△11,309
減損損失	—	3,300
売上債権の増減額(△は増加)	△19,315	61,898
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,318	△372
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,012	△36,274
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,743	4,269
その他の流動負債の増減額(△は減少)	9,926	24,898
その他	△13,181	△2,556
小計	△92,995	△24,257
利息及び配当金の受取額	1,369	3,392
利息の支払額	△180	△369
補助金の受取額	400	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,419	△9,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	△94,826	△30,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	352,701	—
有形固定資産の取得による支出	△2,250	△1,665
有形固定資産の売却による収入	—	74
無形固定資産の取得による支出	△9,481	—
投資有価証券の取得による支出	△50,300	△303
投資有価証券の売却による収入	—	17,475
貸付けによる支出	△342,438	△111,064
貸付金の回収による収入	30,385	37,345
その他	△107	△471
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,491	△58,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	8,675	61,350
借入金の返済による支出	△4,339	△40,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,335	20,645
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△111,981	△68,478
現金及び現金同等物の期首残高	166,744	89,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,762	20,954

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。